

「北海道論語会」本格始動



孔子の教えをまとめた「論語」を市内外に普及させようと昨年11月に誕生した北海道論語会（本部・登別市）は本年度から活動を本格化させる。広く会員を募り、心豊かで思いやりに満ちたまちづくり、国際理解への貢献を目的に論語の普及啓発に取り組む。同会は「登別室蘭地域はもちろん、全道各地に生きるために必要な知恵が詰まっている論語を普及させていきたい」と意気込んでいる。（高橋紀孝）

論語は約2500年前の中
國・春秋時代の思想家・

孔子の教えをまとめた書。人としての生き方や快適な生活を過ごすための知恵などが含まれている。登別市では德育・道徳教育推進の一環として、論語の普及を推進する。同会の特別顧問を務め、孔子の第76代子孫の孔佩群さん（40）が市職員として、幼稚園や町内会などで大人から子どもまで幅広い世代に論語の普及啓発を行っている。

同会は今月から活動を本格化。主に青年会議所やロータリークラブ、ソロプロミスト、商工会議所、商店会などまちづくり関係団体

活動を本格化させる北海道論語会の特別顧問の孔佩群さん（中央）ら

「孔子の教え」市内外へ発信

表には孔さんの息子である第77代子孫の孔優人さん（登別中3年）が務め、講師には特別顧問の孔さんのほか、独学で論語を勉強する北京在住の安達壯一副代表（67）が担当する。

孔代表は「『論語』が語っている思いやりの気持ちを持つことができ、明るく元気なまちづくりにつなげていければ」と話す。同会は、登別はもとより北海道全体に論語を普及させたいとして活動を展開する。同会事務局は「新しい北海道の文化として、登別から論語を発信していきたい。興味がある方は講師派遣など気軽に相談を」と呼び掛けている。

詳細、問い合わせは同会事務局、電話0143・85局4111番（登別商工会議所）、携帯電話090・9514・3592（事務局の日栄均さん）、携帯電話090・8899・5319（事務局の越智泰公さん）へ。

（第3種郵便物認可）